



取材日に研修担当をしていた看護情報委員のメンバーです。左から一戸田香奈さん・江崎紫乃さん・飯田あけみ課長さん・野口明子看護長さん



■2016.8.23

8月に入り看護情報委員会が中心となって【重症度、医療・看護必要度研修】が何回か開催されています。

平成28年度の診療報酬改定によって急性期入院の厳格化が進みました。これは急性期病床数の適正化につなげるための政策誘導が影響しています。「重症度、医療・看護必要度」とは入院されている患者さんがどれだけ重症なのか、どれだけ看護ケアが必要なのかを毎日入力して評価するものです。毎日評価する基準値が15%から25%に引き上げられました。これらの背景から研修開催に至っています。

この研修は全看護職員が対象であり、目的は主に次の2点です。

- ①「重症度、医療・看護必要度」が今年度の診療報酬改定で変更になった部分の確認をして、正しい評価ができること
- ②評価をした根拠となるものを記録に残せること

研修前にはマニュアルに附属されているDVD演習を行い、そのチェック表の持参という予習が課せられていました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。